



平成 22 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 藤田観光株式会社  
代表者名 代表取締役社長 末澤 和政  
(コード：9722、東・大第一部)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 菊永 福芳  
(TEL. 03-5981-7723)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月 7 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 業績予想数値の修正

(金額の単位：百万円)

平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	67,500	3,200	2,800	1,200	10 円 30 銭
今回修正予想 (B)	65,000	2,400	2,000	600	5 円 15 銭
増 減 額 (B - A)	△2,500	△800	△800	△600	
増 減 率 ( % )	△3.7	△25.0	△28.6	△50.0	
(参考) 前期連結実績 (平成 21 年 12 月期)	61,295	1,380	1,395	579	4 円 98 銭

#### 2. 修正の理由

椿山荘を始めとした婚礼部門は比較的堅調に推移しましたが、宿泊部門において、デフレ傾向の継続を受けて販売競争が激しさを増したことにより、客室の稼働状況は前年を上回るものの客室利用単価が予想以上に低下し、ワシントンホテル事業を中心に当初予想を下回る売上となっております。これらの要因により、連結売上高は 650 億円と前回予想に比し 25 億円の減収となる見込みです。

費用面では、オペレーションの見直しによる人件費の削減や、全社的な調達価格の引き下げなど、全社を挙げて変動費・固定費の削減に努めてまいりましたが、売上の減少による影響を補えず、連結営業利益、連結経常利益は前回予想に比しそれぞれ 8 億円減益となる見込みです。また連結当期純利益は、時価下落による投資有価証券評価損を特別損失に見込んだことにより、前回予想に比し 6 億円減益となる見込みです。

#### 3. 配当予想について

配当につきましては、株主の皆さまへの還元と内部留保を勘案して決定しておりますが、現時点において、平成 22 年 2 月 12 日発表の期末配当予想（一株当たり 5 円）に見直しの予定はございません。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上